



発行
青森県立
むつ工業高等学校同窓会
むつ市文京町22-7
TEL (0175) 24-2164(代)
FAX (0175) 29-2893
第33号



技術と郷土をつなぐ誇りを胸に

同窓会会長 木村 努

同窓生の皆さまにおかれましては、日々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げています。平素より同窓会活動に対しまして、温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。むつ工業高校は、昭和三十九年の創立以来、

下北半島の産業と地域社会を支える技術者の育成を使命として歩んでまいりました。厳しい自然環境の中で育まれた実直さと、ものづくりへの情熱を胸に、多くの卒業生が電力、建設、製造、情報通信など多様な分野で活躍し、地域経済の発展に大きく寄与してきたことは、私たち同窓会の誇りであり、母校の存在意義を物語るものです。

しかしながら、少子化の波は本校にも及び、令和九年度をもって近隣校との統合が予定されております。新たな学校の設置は、時代の変化に対応した教育体制の再構築であり、地域の未来を見据えた重要な転換点といえます。

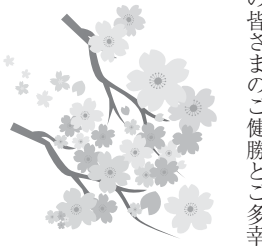
今年度は「下北地区統合開設準備委員会」において、校名案をはじめ、目指す人材像や学校像、総合学科における系列の構成、地域と連携した特色ある教育活動など、多岐にわたる意見交換が活発に行われました。これらの議論は、地域の未来を担う若者たちにふさわしい学びの場を築くための大切な一歩であり、私たち同窓会としても深い関心をもって見守っております。

さらには来年度からは、これらの意見を踏まえた具体的な検討が「開設準備室」において進められる予定です。新たな学校の姿が徐々に形を成していく中で、私たちもその歩みに寄り添い、必要な支援を惜しまない所存です。このような節目にあたり、私たち同窓会の役割もまた、新たな局面を迎えています。むつ工業高校という校名が変わることに一抹の寂しさを感じるのは自然なことですが、私たちが受け継いできた「地元根ざし、技術で地域を支える」という精神は、これからも変わることなく生き続けるべきものです。

今後は、統合後の新たな学校とも連携を図りながら、むつ工業高校の歴史と伝統を継承し、地元出身の若き技術者の育成を支援する活動を続けてまいります。記念事業や資料の保存、技術者としての歩みを後世に伝える取り組みを通じて、同窓会としての責任を果たしていく所存です。

結びに、同窓生の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お申し込みありがとうございます。



千紫万紅に咲き誇る

校長 野呂 政幸

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、物心両面にわたり多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。さて、去る十二月十九日、最後となる下北地区統合開設準備委員会が開催されました。本委員会で、その内容は報告書としてまとめられたのちに、開校準備室へ引き継がれます。これまで、統合校に関わる様々な会議へ足を運ばせていただき、周知の生い立ちが記された多くの資料に幾度となく目を通し、その歩みの変貌と同窓生の皆様方の活躍する姿を改めて拝見させていただきました。表紙には「むつ工創刊号」と書かれており、「ひば」という名はありません。「ひば」の名は、第三号からこの創刊号の中で、初代校長 高橋平八先生は、卒業生への饒の言葉として、次のように述べられています。

「生徒会誌の創刊にあたり、一言申し添えた。私は、本校が開校されたときの入学式に『陸奥にも春が来た』と話したことを覚えている。春という意味には季節の春と、文化の華映くという意味が多分に含まれていた。下北地方は零細な半農半漁村を周囲に持つ経済的に恵まれない地域で、その65%が労働力として工業都市へ移っていき、残りの35%の750名位の生徒は、地域的、経済的に恵まれて高等教育を受ける機会に恵まれて毎年高校へ入学してきます。その750名の中から更に上級の学校に進学するものが、23%、残りの77%のものが実社会に就職するがその中の35%のものが工業会に入っているのが実情で、学校のときに何等工業技術を身に付けず工場へ就職してきます。又、極く少数のものであるが、青森工業高校、八戸工業高校に進学するものもいるが、これは経済的に特に恵まれたもののみで毎年10名を越えない。

然るに昭和三十九年に本校が開校され、同四十二年三月には、150名の工業高校の卒業生が業界に進出することになったのは誠に嬉しいことであって、長い間の冬籠りの状態にあったものが春の雪解けと共に百花となつて咲き出した感じがする。入学式の二、三日前の東奥日報の片はしに、日あたり良い丘にタンポポの花が一つ一つ咲いている写真をかかげ、陸奥にも春が来た」と題して話したことが心に刻まれている。(生徒会誌「むつ工創刊号」本文より抜粋)

開校した1964年(昭和39年)の高等学校進学率は70.6%。いわゆる「団塊の世代」が高校進学を迎えた時期(昭和30年代後半〜40年代)と重なり、それまでの50%台から急激に上昇し、高校教育が一般的になり始めた時期にあたります。そのような中、まさに本校は、地域の教育に對する大きな期待と、背景にこの地に開校し、完成の体育館、石ころだらけのグラウンドでの授業や学校行事。生徒自らが造り上げたバックネットなど、生徒・保護者・教職員が一つとなって、グラウンド整備や植樹・校門の建設に携わるとともに、まさに地域全体の「むつ工愛」に支えられて開校した。

本校は、機械科、電気科の二学科を持って開校し、その後、東北初となる設備系学科の設置や、重なる学科再編を経ながら、今年度、六十二年の歴史と伝統を礎に、六十回目となる卒業式を迎えました。この度、新たに83名の卒業生を世に送り出した。一回生146名から数え、述べ9,752名の卒業生を輩出したことになりました。時代の変化は、社会状況を大きく変遷し、当時の高橋平八校長先生が述べた進路事情は、大きく変化しました。また、学校教育を取り巻く環境も大きく変わり、現在本校が進める地域との連携による学際横断的探究型学習の充実や公募制による実践的なインターンシップなどの特徴ある教育活動は、高い専門知識や技術の習得はもとより、地域課題を主体的に解決する郷土愛に満ちた人材の育成に向けて、着実にその成果をあげております。

かつて、高橋平八校長先生は、「一回生の工業会への進出を『百花となつて咲き出した』と喜びに満ちた言葉で表現しました。あれから長年にわたる世代を超えて受け継がれてきた、本校独自の精神、教育、校風は、同窓生の皆様方を始めとする地域の方々が多々とお力添えと、その熱い思いとともに着実に今へと紡がれております。生徒一人ひとりが、日々の学校生活でその恩恵に感謝の念を持ちながら、何事にも果敢に挑戦し、未来や自己の実現を図るため日々勉学に励み、本校を築き、世へ進出する卒業生の姿は、まさに「千紫万紅(せんしばんこう)に咲き誇る」と表現して過言ではないと感じております。これまでの本校の教育実践は、確実に次の世代へと継承し、温かなこの地の人々の思いと共に、むつ下北地域における、新たな時代の先導する専門教育の充実発展に向け、今後とも教育活動に邁進したいと考えております。最後になりますが、同窓会の皆様には引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康をお祈りし、折念いたしまして、同窓会誌「玲峰」に寄せる言葉といたします。

定期総会・集い開催
 令和7年7月5日
 ～むつグランドホテル～

令和七年七月五日(土)に本部定期総会・同窓生の集いがむつグランドホテルで開催されました。今年度は総勢四十九名の方々の参加となりました。

定期総会では、令和六年度の事業報告及び会計報告、続いて令和七年度事業計画及び予算案について審議され、満場一致で全て承認されました。

定期総会終了後に行われた同窓生の集いでは、食事を楽しみながら当時の恩師や同期の仲間たちと近況報告や思い出話に花を咲かせていました。

また、経験豊富な先輩方から活躍の様子を伺ったり、どのように壁を乗り越えていったのかなどアドバイスをいただいている様子も見られました。新卒者は特に自分自身の将来について考える良い機会になったと思います。

「同窓生の集い」は母校の発展と世代を超えた同窓生の繋がりを作る場となっています。来年度も多くの皆様のご出席をお待ちしております。



令和7年度 青森県立むつ工業高等学校 同窓生の集い



関東支部総会開催
 令和7年6月29日
 ～上野精養軒～



関東支部長
中島 諭

「まんずまんず よく来たのお!!」
 同窓会関東支部長、七期生電気科・まんずの中島諭です。

前回の関東支部の総会が二〇二四年六月二十九日だったので、約一年が経ちました。

簡単な自己紹介をします。生まれは、現在のむつ市田名部新町です。父親が三歳で亡くなったため、母方の実家の大畑で、小学校・中学校からむつ工高まで、現在のむつ市大畑町に住んでいました。

現在の仕事は、今まで働いていた国鉄バスから引き継いだ、JRバス関東の高速バス運転手から五年前に定年退職となり、JRバス関東の回送バスの運転業務として、東京駅日本橋口から江東区の本町まで運転と、社員送迎バス業務、昨年十一月に警備の資格を取り、東京駅日本橋口の交通誘導警備業務をしています。

挨拶というのですが、一番大切なことは人間関係だと思っています。人と人との関わり、挨拶の大切さ、人との出会いは無駄な出会いはなく必然的だということだと思っていますので、どうか優しい心で接して頂きたいと思います。

最後に
 人生で嫌なことがあったら、くよくよしないで、「まんず！まんず！」と前を向いて、世のため人のために生きて頂きたいと思います。

以上、同窓会関東支部長の挨拶とします。
 「まんずへば!!」



おつ工生の活躍を紹介します!

令和7年度 主な戦績

《硬式野球部》

★第72回春季東北地区高等学校野球青森県大会
1回戦 対 青森中央・松風塾連合(10対7)
2回戦 対 弘前工業(1対8)

★第107回全国高校野球選手権青森県大会
1回戦 対 弘前南(2対6)

★第78回秋季東北地区高等学校野球青森県大会
1回戦 対 東奥学園(1対8)

《ローイング部》

★第59回青森県春季ボート選手権大会兼むつ市長杯
争奪競漕大会並びに1・2年生大会
強風のため中止

★第78回青森県高等学校総合体育大会ボート競技兼
全日本高等学校選手権競漕大会青森県予選会
男子総合 第2位
男子舵手付きクオドルブル
第2位 むつ工

男子ダブルスカル
第1位 むつ工(二木、倉本)

男子シングルスカル 第2位 木村 粹音
女子シングルスカル 第1位 坂下 サラ

★第51回東北高等学校ローイング選手権大会
女子シングルスカル 第3位 坂下 サラ

★令和7年度青森県秋季ローイング選手権大会兼朝
日杯争奪ローイング大会兼青森県高等学校ローイ
ング新人選手権大会
男子舵手付きクオドルブル
第3位 むつ工

(久保田、高木、溝口、工藤、佐藤)
男子シングルスカル 第2位 矢野 聖海
女子シングルスカル 第1位 坂下 サラ

男子団体
1回戦 3-0 青森北
2回戦 むつ工 0-3 十和田工業
男子シングルス
1回戦 小笠原 0-3 (青森商業)
東谷 3-0 (青森)

赤石 0-3 (弘前中央)
川井 0-3 (青森商業)
齋藤 0-3 (青森山田)
東谷 0-3 (弘前実業)

男子ダブルス
1回戦 小笠原・田中3-1 (柴田学園)
東谷・赤石1-3 (弘前南)

《卓球部》

★第25回青森県春季高等学校卓球選手権大会
男子団体
1回戦 むつ工 3-2 弘前
2回戦 むつ工 0-3 弘前実業
男子シングルス
1回戦 赤石 0-3 (東奥学園)

男子ダブルス
1回戦 小笠原・田中 2-3 (五所川原)
東谷・赤石 0-3 (八戸工業)

★第78回青森県高等学校総合体育大会卓球競技会兼
全国高等学校総合体育大会・東北大会青森県予選
会
男子団体
1回戦 むつ工 3-0 青森北
2回戦 むつ工 0-3 十和田工業
男子シングルス
1回戦 小笠原 0-3 (青森商業)
東谷 3-0 (青森)

赤石 0-3 (弘前中央)
川井 0-3 (青森商業)
齋藤 0-3 (青森山田)
東谷 0-3 (弘前実業)

男子ダブルス
1回戦 小笠原・田中3-1 (柴田学園)
東谷・赤石1-3 (弘前南)

西村・佐藤2-3 (弘前実業)

小笠原・田中 0-3 (青森山田)

兼第48回全国高等学校柔道選手権大会青森県予選
兼第48回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大
会青森県予選
男子団体

1回戦 むつ工 4対1 八戸水産
準々決勝 むつ工 0対3 八戸大第一
ベスト8

無段73kg級 田村 燎 準々決勝戦敗退
ベスト8

60kg級 飛内 琉成 準々決勝戦敗退
ベスト8

73kg級 野辺地珂椅 準決勝敗退
ベスト3位

100kg級 村中 煌空 準決勝敗退
第3位

★1年生大会
男子シングルスカル 第1位 山道 音律

★第40回 東北高等学校選抜ローイング大会
女子シングルスカル 第1位 坂下 サラ

★第51回青森県春季陸上競技選手権大会
ジュニア男子円盤投 第6位 濱中 汎伽
女子やり投 第7位 長谷川璃音

★第78回青森県高等学校総合体育大会陸上競技
男子円盤投 第4位 濱中 汎伽
女子やり投 第5位 長谷川璃音

★第50回青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大
会
女子やり投 第4位 長谷川璃音

《バスケットボール部》
★令和7年度青森県高等学校春季バスケットボール
大会
男子1回戦 55 対 51 弘前中央
むつ工 2回戦 29 対 95 八戸工業
女子1回戦 34 対 78 青森中央
むつ工・大湊

《バドミントン部》
★令和7年度青森県高等学校春季バドミントン大会
団体戦男子
1回戦 むつ工 3-0 八戸水産

2回戦 むつ工 0-3 弘前中央
団体戦女子
2回戦 むつ工 2-3 五所川原工科
個人戦
男子ダブルス
1回戦 葛野・江野 0-2 (黒石)
篠塚・山崎 0-2 (青森西)

女子ダブルス
1回戦 鎌田・石川 0-2 (三沢)
式尾・佐々木 0-2 (三沢商業)

男子シングルス
1回戦 葛野 0-2 (八戸商業)
1回戦 江野 0-2 (十和田工業)

女子シングルス
1回戦 石川 0-2 (弘前)
西山 0-1 (五所川原工科)

★第78回青森県高等学校総合体育大会剣道競技
男子個人
1回戦 葛西 メー (青森南)
2回戦 葛西 メー (五所川原第一)

女子個人
2回戦 駒木根 メー (八戸南)
3回戦 駒木根 ドー (弘前)
4回戦 駒木根 ードド (東奥義塾)
4回戦敗退(県ベスト16入り 本校初)

《囲碁・将棋愛好会》
★第46回青森県高等学校総合文化祭将棋部門 兼第
34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会県予選会
男子個人戦B組(初・中級者)
小川 空将

◇予選リーグ10組
×(八工大一) 大柳
○(八工大二) 犀地
×(青森東) 石村

◇予選リーグ敗者交流トーナメント
○(八戸) 小笠原
○(弘前) 櫻田
○(弘前) 向井田
敢闘賞受賞



「Ocean Challenge 2025」へ参加して

課題研究プロジェクトチーム「Aries 2nd」

機械科 柴田 龍駕・二木 海斗
電気科 佐賀 海音

私たち課題研究プロジェクトチームである「Aries 2nd」は、昨年の9月に台湾の高雄市で開催されたOcean Challenge 2025に参加させていただきました。17年間生きてきて初めての海外で、正直とても不安でしたが、飛行機の窓から見る景色がとても綺麗で感動しました。現地では、発表本番までの準備期間が大変短く、発表をすべて英語で行うのはとても大変でした。どうにか発表を終えて迎えた質問時間に、審査員を務められた研究者の方々から英語で質問されたときは、とても怖かったです。自分の英語が本当にあっているのか、伝わっているのかがわかりませんが、実物を持って説明するなど私たちができる最善の工夫をし、研究成果をアピールしました。結果は、青少年の部第二位という想像以上の結果でも嬉しかったです。海外で実際に過ごしてみても思ったことは、やはり英語力の大切さでした。発表後の休憩時間の時に、他チームのメンバーから英語で話しかけられたことがありました。そこで私たちが、ジェスチャーや片言の英語でしか反応することができませんでしたが、もしもここで英語を話せれば、もっと会話も弾んでいただろうし、色々な話をたくさん聞くことができたと思います。少しでも英会話ができるようになりたいと心から思った瞬間でした。

このOcean Challengeという研究発表大会は、様々な国の発表者による自国に関する海洋問題の研究、活動を発表する場となっていて、各発表グループが、真剣に課題に向き合っていることを感じる事ができました。特に、印象的であった発表は、海洋生物へストレスを与えずに、海の探索をするために、エイの形を用いて生態系を詳しく観察できる機械の開発を研究していたチームです。これがあれば今、青森県全体でホタテが高水温による被害を受けている問題について、どの海域で育てることができのかを予想することに役立つのではないかと思います。様々な国の発表を聞いて、日本も海洋環境に対する意識をさらに高めながら、課題を見出し、改善に向けて研究活動をしていく流れを大事にしていくべきだと改めて考えるようになりました。

この3年間の高校生活で、まさか台湾に行けるとは思っておらず、本当にいい経験をさせていただきました。これも先生方や、むつ市の方々、そして何より、台湾で付き添いをしてくれた小林さんのおかげです。これからの人生で一生語ることのできる経験だと思うので、この経験を活かしながら、これからの社会人生活を生きていきたいと思えます。

全国産業教育フェア福島大会に参加して

課題研究プロジェクトチーム「Aries 2nd」

機械科 酒井 青空・佐藤 瑛太
電気科 川向 慶宗・相馬 龍斗

私たちは、10月に福島県郡山市で行われた「さんフェア福島2025」作品・研究発表部門へ参加しました。さんフェアは、全国の工業、農業、商業といった専門高校等の学習の取り組みをPRするイベントあり、3年前に青森県でも開催されました。私たちは全国の工業代表として、現在、プロジェクトチームで取り組んでいる「風向風速観測機」の研究発表を行い、奨励賞を受賞しました。

発表会全体をおして他の専門高校の発表が素晴らしく、たくさん魅力を感じました。特に印象に残っているのは水産高校の研究活動で、ペットボトルの蓋を使って釣りで使用するルアー(ミノ)を作るというものでした。泳ぐときの姿勢やバランス、カラーなど色々な課題がある中で見事に完成させた点がとても印象的でした。また、ペットボトルの蓋を使うことでエコであること、そして工業技術を活用し地球のことをよく考えたものづくりであったことから、私たちが人や地球にやさしいものづくり技術者になりたいと思いました。

その他、各参加校で行われている研究活動のすべてがそれぞれの分野における課題を的確に捉えた内容で、地域等のアドバイスを得ながら解決へ向け努力している姿に感動を覚えました。また、発表に関する表現の工夫も素晴らしく、私たちの発表に足りない部分を知ることが出来ました。私たちは、さんフェア福島大会で人に伝えるための技術を学び、他分野での課題や改善へ向けた取り組みについて大きな学びを得ました。今回得た学びや発見を今後の活動で活かしていきたいと思えます。



令和7年度 卒業生進路状況

【就職先一覽】

63名 () は人数
★は就業場所が県内
県外35名

- トヨタ自動車東日本 株式会社(学園生徒)
トヨタ自動車 株式会社(技能職)
株式会社 DRAGON AGENCY ★
いすゞ自動車株式会社 藤沢工場
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
大光電設 株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー (NTTIME)
東北電力ネットワーク 株式会社
株式会社 JERA
株式会社 HEXEL Works
昌運工業株式会社 北海道支社
東北緑化環境保全 株式会社 ★
空調技工 株式会社
JFEスチール株式会社 棒線事業部仙台製造所(4)
JFEエンジニアリング株式会社
東北発電工業 株式会社(2) ★
株式会社 ファイブ・デザイン(2)
本田技研工業株式会社 埼玉製作所
ユニオン建設 株式会社
株式会社 関電工(2) ★
東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所
株式会社 ユアテック
東京電力ホールディングス株式会社(2) ★
株式会社千代田テクノル ★
株式会社 コアテクノス ★
株式会社 日立プラントコンストラクション
県内26名
株式会社 サンデー
株式会社 青森クリエイティブ(2)
株式会社 永木精機 六ヶ所村工場(2)
株式会社 熊谷建設工業(2)
株式会社 ジェイテック(3)
尻芳漁業協同組合
株式会社 アトックス 東通事業所(2)
株式会社 バイタルネット 十和田支店
吉田漁業部
ヒジカタ工業 有限会社
エプソンアトミックス株式会社
株式会社 木村鉄工所(2)
日本原燃株式会社(2)

- 株式会社ほくと むつ支店
有限会社 北栄電工
日本原燃分析 株式会社
杉山建築
二木漁業部
公務員2名
海上自衛隊一般曹候補生(2)

【進学先一覽】

18名 () は人数
国立1名

- 国立大学法人 北見工業大学
工学部 先進工学科
私立8名
八戸工業大学
工学部工学科 電気電子通信工学コース
東北工業大学
ライフデザイン学部 生活デザイン学科
千葉工業大学
先進工学科 未来ロボティクス学科
横浜商科大学
商学部 商学科
八戸学院大学 福祉学部
健康医療学部 看護学科
北海道科学大学
保健医療学部 臨床工学科
関東学院大学
社会学部 現代社会学科
青森大学むつキャンパス
総合経営学部
短大1名
青森中央短期大学
幼児保育学科
専門5名
仙台ビューティアート専門学校
美容科(2年制)ヘアスタイリストコース
仙台ビューティアート専門学校
美容科(2年制)ネイル&アイラッシュコース
専門学校日本ホテルスクール
夜間部 国際ホテル学科ブライダル科
宮城調理製菓専門学校
アドバンスキユアール科
専門学校札幌ビジュアール
ビジュアルクリエイター学科 MVクリエイター専攻
その他3名
青森県立弘前高等技術専門学校
総合建築科
東北能力開発短期大学校青森校
電子情報技術科(2)

※文部科学省管轄外の学校

同窓会より連絡

令和7年度 事業報告

Table with 3 columns: 実施日, 事業内容, 会場. Rows include: 4月4日(金) 新任職員歓迎会, 4月7日(月) 第62回入学式・PTA入会式, 5月13日(火) 第1回理事会, 6月21日(土) 関東支部総会, 7月2日(水) 体育祭, 7月5日(土) 定期総会・同窓生の集い, 11月27日(木) 第2回理事会, 1月16日(金) 第3回理事会, 2月28日(土) 同窓会入会式, 3月1日(日) 第60回卒業証書授与式, 3月26日(木) 離任・退任職員送別会.

令和8年度 事業計画(案)

Table with 3 columns: 実施日, 事業内容, 会場. Rows include: 4月6日(月) 新任職員歓迎会, 4月7日(火) 第63回入学式・PTA入会式, 5月14日(木) 第1回理事会, 6月27日(土) 関東支部総会, 7月11日(土) 定期総会・同窓生の集い, 7月22日(水) 体育祭, 9月24日(木) 第2回理事会, 1月15日(金) 第3回理事会, 2月28日(日) 同窓会入会式, 3月1日(月) 第61回卒業証書授与式, 3月26日(金) 離任・退任職員送別会.

同窓生通信〜三十三期生全科合同会

三十三期生全科合同同窓会を終えて

三十三期機械科卒 山崎 明男

令和七年八月十六日むつグランドホテルにおいて、三十三期生全科合同同窓会が開催され参加しました。機械科十四名、電子機械科九名、電気科八名、電子科十一名、設備システム科十名、ゲストで恩師をお招きし佐々木規穂先生(学年主任)、橋本敬三先生(S科科长)、神孝幸先生(M科担任)、藤田明彦先生(二F科担任)、新堂昭生先生(三F科担任)、秋庭淳先生(E科担任)、白川直人先生(S科担任)に参加頂きました。卒業人数からいくと約三割の参加率でほぼ地元就職組でしたが、お盆休みという帰省のタイミングで計画されたので県外就職組からも参加頂き総勢六十名ほどで卒業以来初めての同窓会を開催する事が出来ました。

事の発端は今から三年前、幹事代表の下川氏(M科卒)が高校の同級生と酒を呑んでいた時の会話で「同窓会をやるべよ」から計画されたそうです。まずは各科の幹事を決め案内を出す為の連絡先調査から始まったそうで、それは今の時代LineやインスタなどSNSですぐ繋がる事が出来た方もいれば、音信不通の方もいて。出欠確認が一番大変だったと思います。幹事の皆様、ご苦労様でした。いざ同窓会場へ行ってみると普段会っていない人、卒業以来会ってなかった人など、あれ？すんなり名前が出てこないのは年を重ねた証拠です。体型をキープしている方もいれば、人生最大体重の方もいたりして・自分がそうです。昨年、子供と体育館でスポーツしたらアキレス



むつ工業高校33期生全科合同同窓会

腱断裂をしました。四十歳を過ぎたら積極的に野菜摂取と適度な運動を心がけましょう、三十三期生の皆さん。どこひっかかっている？や、数値なんぼ？と聞いている場合ではありません。また、宴会中に回ってきた謎のBOX。母校の為に寄付を募ったBOXでした。後に同窓会維持費へ寄付させて頂きました。むつ工業高等学校の諸活動の一助となれば幸いです。

結びになりますが、同窓会を企画開催してくれた下川氏はじめ、各科幹事の方ありがとうございました。二次会もかなりの参加人数で楽しい夜を過ごす事が出来ました。しばらくぶりの同級生と昔話するのも刺激になり、ちょっと高校生の時を思い出した一日でした。次回は五年後五十歳でまた参加できるように、皆さまのご健康とご多幸を願います。

会報のホームページ掲載について

むつ工同窓会会報は「むつ工業高校ホームページ」に掲載されております。維持費を納入された方々や新卒者の皆様には、印刷した会報をお届けいたしますが全ての同窓生の方々に印刷した会報を配付していません。同窓会ページのQRコードを掲載しますので、そこからご覧ください。また、同窓会からのお知らせやお願いも掲載されておりますので合わせてご覧ください。同窓生の皆様にはご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



むつ工同窓会ページ QRコード

33期生の皆様より同窓会維持費へご寄付をいただきました



同窓会維持費の報告 (令和8年1月7日現在) 一口千円～

ご協力ありがとうございました。次年度も宜しくお願い致します。

氏名	科	金額
川向信義	機械科	10
工藤作造	機械科	10
田中啓三	機械科	10
石澤真悟	機械科	10
金澤真悟	機械科	10
石田耕作	機械科	10
川西敏一	機械科	10
橋立由則	機械科	10
野池武郎	電気科	20
大坂平八郎	電気科	2
新井田剛	電気科	5
野澤昌一	電気科	3
山道昌弘	電気科	3
高嶋信一	電気科	30
菊池克巳	電気科	10
澤田啓一	電気科	2
野橋文雄	電気科	10
野登輝男	電気科	5
小田桐秀一	電気科	10
福田幸真	電気科	5
越膳茂幸	電気科	10
関口新一	電気科	3
橋本秀夫	電気科	3
寺尾定男	電気科	7
中島義春	電気科	7
三塚義春	電気科	7
伊勢田勝英	電気科	8
田村幸之助	電気科	9
後藤政司	電気科	9
二ツ森誠司	電気科	10
福田謙誠	電気科	10
荒谷保	電気科	11
若佐裕也	電気科	11
氣仙高広	電気科	12
三國昌彦	電気科	12
畑中靖	電気科	12
菊池孝之	電気科	12
木村孝之	電気科	13
石原雄一	電気科	13
松谷達	電気科	16
泉澤国房	電気科	16
木村立	電気科	20
杉本邦彦	電気科	21
畑中洋子	電気科	30
田中卓也	電気科	31
本多卓也	電気科	33
鷹架良和	電気科	38
トキワ設備工業株式会社	電気科	142

維持費納入について

維持費の納入方法について、二つのパターンを紹介いたします。

○郵便局での納入方法

・払込取扱票をお持ちの方は、ご依頼人欄に住所・お名前をご記入の上、納入をお願いいたします。

・払込取扱票をお持ちでない方は、お手数ですが郵便局窓口で払込取扱票をもらい、以下の内容を記入して納入してください。

○事務局への手渡し納入方法

・事務局へ直接お渡しください。(学校へ来校し、事務局へ納入)

※事業(定期総会・同窓生の集い)等の際でも構いません。

口座記号・口座番号
02380-2-13767

加入者名
青森県立むつ工業高等学校同窓会

払込取扱票		通算払込料金 加入者負担	振替払込請求書受領証
023802	13767		023802
青森県立むつ工業高等学校同窓会			13767
振替払込請求書受領証		振替払込請求書受領証	
023802		023802	
13767		13767	
青森県立むつ工業高等学校同窓会		青森県立むつ工業高等学校同窓会	
振替払込請求書受領証		振替払込請求書受領証	
023802		023802	
13767		13767	
青森県立むつ工業高等学校同窓会		青森県立むつ工業高等学校同窓会	

広告コーナー

(有)日の出建設

代表取締役 川 向 信 義 (機械科1期生)

〒035-0036 むつ市栗山町11-8
TEL (0175) 28-2515
FAX (0175) 28-2516
携帯 090-3125-8757
e-mail:hinode7@ninus.ocn.ne.jp

Eco Power Wing Co., Ltd 再生エネルギー
株式会社 エコパワーウィング
Eco Power Wing

〒030-0803 青森市安方2丁目16-13 Yスポットビル6-A
代表取締役 秋 田 勇 (機械科2期生)
TEL (017) 763-5677 FAX (017) 718-0270
web: http://www.ah-sh.co/

ベル少額短期保険 千の風 代理店
ベルホールむつ 家族葬可能
有限会社 田中造花店

〒035-0076 むつ市旭町11-13
代表取締役 田 中 常 浩 (機械科7期生)
TEL (0175) 24-3732 FAX (0175) 24-1169
e-mail:tanakazoukaten@sofcom.jp

建築板金工事一式 青森県知事許可番号(般-5)第600053号
吉田板金加工所

〒039-4401 むつ市大畑町湯坂下9-8
代表 吉 田 稔 (機械科7期生)
吉 田 卓 (機械科38期生)
☎ (0175) 34-2678

有限会社 太陽設備工業

〒035-0072 むつ市金谷2丁目15番59号
代表取締役 福 田 謙 (設備工業科3期生)
TEL (0175) 22-8810 FAX (0175) 23-5255
給排水衛生設備工事・冷暖房設備工事・上下水道工事

給排水衛生設備・浄化槽設備・冷暖房設備

有限会社 昭和水道

〒035-0084 むつ市大湊新町9番40号
代表取締役 木 村 孝 之 (設備工業科5期生)
TEL (0175) 24-3162 FAX (0175) 29-4832

仏壇・神棚・灯笼・提灯・造花・掛軸
＜線香ローソクの盛り籠＞

有限会社 石橋神仏具店

代表取締役 石 橋 彰 (機械科13期生)
〒035-0031 むつ市柳町4丁目12-51
TEL 0175-23-8688
FAX 0175-23-8689

LIXIL FC **マドリエむつ**
株式会社 ヒロト-ヨ-住器
 〒035-0084 むつ市大湊新町9-50
 代表取締役 **山形 博利** (機械科14期生)
山形 裕紀 (機械科45期生)
 TEL (0175) **24-2306** FAX (0175) **24-3883**

公益社団法人 日本柔道整復師会 正会員 日本接骨医学会 認定 柔道整復師
おおの 整骨院
 骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷
 受付時間 (平日 8:00~11:30 ☆ 14:00~18:30 土曜 8:00~12:30)
 (祝日 9:00~11:30 日曜 休診)
 院長 **谷川 弘** (機械科14期生)
 〒030-0853 青森市金沢3丁目13番25号
 TEL (017) 776-8020(代) e-mail: tani1961@eagle.ocn.ne.jp

ゴミ処理 & 解体工事 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬
 産業廃棄物中間処理 処分業・解体工事
株式会社 東通運輸
むつリサイクルセンター
 代表取締役 **舘 進** (機械科15期生)
 本社 青森県むつ市大曲3丁目13-8
 TEL (0175) **22-3911** FAX (0175) **22-3917**

セブン-イレブン
六戸小松ヶ丘店
 〒033-0074 上北郡六戸町小松ヶ丘3丁目77-1555
 オーナー **南川 国弘** (機械科15期生)
 ☎ (0176) **52-7733**

村林電機株式会社
 〒039-4401 むつ市大畑町湯坂下104-45
 代表取締役 **村林 達也**
 専務取締役 **村林 秀起** (電気科16期生)
 ☎ (0175) **34-4141** FAX (0175) **34-4142**
 同窓生 18名在職

ob&s.k 総合設備工事業
小山内ボーリング&設備株式会社
 〒035-0011 むつ市大字奥内字近川8
 代表取締役 **小山内 勝弘** (設備工業科9期生)
 TEL・FAX (0175) **26-3443** 携帯 **080-5733-4933**

一般電気工事・設計施工・発電機・送電・配電工事
 各種照明器具販売・一般建設業
 青森県知事許可(第11563号)
有限会社 北栄電工
 〒035-0033 むつ市横迎町二丁目11-15
 代表取締役 **木村 努** (電気科20期生)
 TEL (0175) **22-1759** FAX (0175) **22-0850**

有限会社 むつ車体工業
 〒035-0043 むつ市南赤川町10-25
 代表取締役 **齋藤 憲一** (機械科25期生)
 TEL (0175) **22-3561(代)** FAX (0175) **23-5051**
 E-mail: 0175223561@mutsusyatai.com https://mutsusyatai.com/
 SUBARU shop むつ赤川店 ◆川内交通バス ◆かぎもたくシー

全国ネットの総合カーディーラー
 TOTAL AUTOMOBILE EXCELLENCE
TAX
自動車
 〒035-0033 むつ市横迎町一丁目13番65号
 専務取締役 **坂本 大助** (機械科29期生)
 TEL (0175) **22-6464** FAX (0175) **22-6424** 携帯 **090-3122-2614**

はり
 小川町1-5-3
三章堂印房
佐藤 俊介
 電子機械科2期(29期)生
 ☎ **22-0513**
 FAX **22-5459**

株式会社 下川興業 代表取締役 下川 興一 (機械科33期生)
 〒035-0002 青森県下北郡東通村目名字向野1-62
 TEL (0175) **28-5250** FAX (0175) **28-5251**
 E-mail: shimokawakougyou@hb.tp1.jp
営業項目 プラント配管工事 製缶溶接一式 土木工事
 機械器具設置工事 解体工事

ToBiShiMa
(株)飛鳥鉄工
 ●車庫鉄骨 ●防雪フェンス ●ステンレス加工
 〒035-0042 むつ市大曲三丁目12番20号
 代表取締役 **飛鳥 芳史** (機械科37期生)
 TEL (0175) **22-3068** FAX (0175) **22-1568** E-mail: info@tobi-steel.com